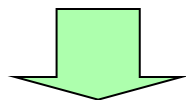


青森市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年2月～24年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 郊外における住宅地、商業地の開発
- 本州と北海道を結ぶ交流拠点としての役割喪失(S63、青函連絡船廃止)



○中心市街地の人口減少

(S45:6,556人→H17:3,346人)

○中心市街地の商業機能の衰退

〔空地・空き店舗率 H12:7.9%→H17:10.7%
商品販売額 S63:92,793百万円→H17:68,553百万円〕

○除排雪費等の大きな行政コスト

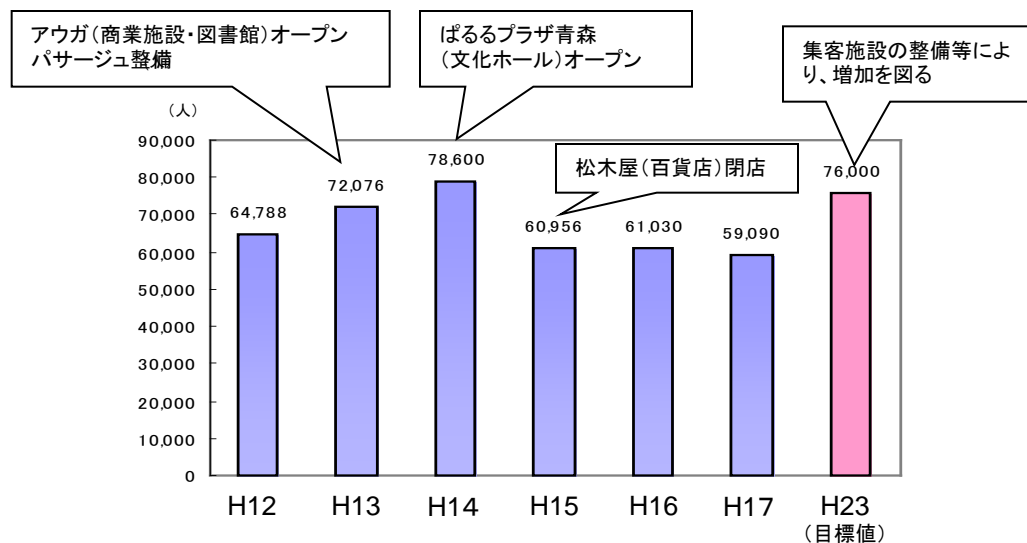
〔H16:31億2千万円、H17:23億3千万円
市全体の年間予算の約3%〕

【目標】

目標	指標	現況値(H17年)	目標値(H23年)
街の楽しみづくり	歩行者通行量	59,090人	76,000人
交流街づくり	年間観光施設入込客数	696,312人	1,305,000人
街ぐらし	夜間人口	3,346人	3,868人
中心商店街の活性化	小売業年間商業販売額	68,553百万円	68,553百万円
	空き地・空き店舗率	10.7%	8.8%

(歩行者通行量の動向と数値目標)

* 毎年1回、6月平日に定点調査



日本有数の豪雪地帯であること、長期的な人口減少傾向にあること等の課題に対し、市長の強力なリーダーシップにより、長い時間をかけてコンパクトなまちづくりに対する市民の理解を得て推進。

